

獨り戦に關し

スター・リンの演説

「二十二日獨逸によつてわがソ連にいたして開始された軍事的攻撃は、自下引續き行はれ、戦場悲運に遭遇したがそれにもかゝはらず進撃をつづけ、新部隊を攻撃に参加させしる。赤軍の英雄的抵抗により獨逸の最優秀師團ならびに優秀空軍はすでに打ち破られ、戦場悲運に遭遇したがそれにもかゝはらず進撃をつづけ、新部隊を攻撃に参加させしる。ヒトラーの軍隊はリトアニアを占領し、ラトビアの大半白露の北部、西部ウクライナの一部分などの占領に成功し、また獨軍は爆撃機の作戦範囲を擴大し、ムンスター、ホルシヤ（白露）モガレフ、スモレンスク、キエフ、オデッサ、セバストopolなどを爆撃してゐる。吾々の國の上には大なる危険があつたのである。

わが領土の一部が獨アシスト軍によつて占領されたのは、ファシスト獨逸がソ連にいたしてからである。

わが領土の一部が獨アシ

スト軍によつて占領されたのは、ファシスト獨逸がソ連にいたしてからである。

わが領土の一部が獨アシ

スト軍によつて占領されたのは、ファシスト獨逸がソ連にいたしてからである。

わが領土の一部が獨アシ

スト軍によつて占領されたのは、

わが領土の一部が獨アシ

慰問袋に眞心こめて 送る我等が銃後奉仕大會

盛會だつた銃後奉仕大會

七月七日、支那事變勃發以來四年年の記念日を迎へて在住の日本人、銃後奉仕會ではこの日を特に意義あらしめ、また延いては第一戰に活躍する皇軍將兵に對して感謝の意を贈るため、慰問袋の作製をかねて銃後奉仕大會を一昨日午後二時から日本人會館において開催した。

會堂に入る前入口におかれある献金箱に當日の集會會員はおれもノートと應分の寄附をなしてから會堂で慰問袋の作製がはじまる。すでに婦人部書伯夫人レーナさんは、手で用意できた布袋いろいろな雑誌類、日用品などをして、當日プログラムに

式順に移る。先づ片山幹事會で一同皇軍將兵に對して感謝の意を贈るため、慰問袋の作製をかねて銃後奉仕大會を一昨日午後二時から日本人會館において開催した。

局長から國際情勢に關しての講演、次で重慶海軍武官は海入り、先づ津田同監南米總務

を挙げた。終つて、講演會に

を挙げた。終つて、